

『交通経済のエッセンス』正誤表

1. 84頁4行目

(誤) 「これらをすべて考慮しなければ、便益を測定できないとすれば、非常に大変な作業になってしまいます。しかし、通常、費用便益分析に波及効果は含めません。これを簡単なグラフで示しましょう。」

(正) 「これらをすべて考慮しなければ、便益を測定できないとすれば、実務上、非常に大変な作業になってしまいます。費用便益分析に波及効果を含めるべきかについては議論があります。これをボードマンほか(2004)の議論を参考にして、以下、簡単なグラフで示しましょう。」

2. 86頁 図5.4のタイトル

(誤) 「図5.4 波及効果3(価格が変化する場合)」

(正) 「図5.4 波及効果3(外部費用がある場合)」

3. 86頁 図5.4内の説明

(誤) 「騒音による外部費用」

(正) 「騒音による限界外部費用」

4. 86頁4行目

以下の文章を削除してください

「価格の下落により、 $p_{s0}efp_{s1}$ だけ消費者余剰は増加し、 $p_{s0}gfp_{s1}$ だけ生産者余剰は減少します。その結果、総余剰はefgだけ減少します。」

5. 86頁12行目

以下の文章を削除してください

「詳細は省きますが、 bcc' はefgの近似値になることが知られているので、」

6. 87頁4行目

(誤) 「新幹線開業により観光地の需要曲線が右上にシフトしたことによって、新しい余剰の損失②が生まれています。後者の方が大きいことが読み取れます。よって、この余剰の損失の増加分を、鉄道市場の余剰から引かなければなりません。」

(正) 「新幹線開業により観光地の需要曲線が右上にシフトしたことによって、需要が q_{s1} へと増加します。観光地の騒音の発生による外部費用の増加分を、鉄道市場の余剰から引

かなければなりません。」

7. 113 頁 図 6.8

以下の文章を追加してください

「(出所) 株式会社内藤ハウスホームページ「民間資金等活用事業(PFI)」を参考に作成。」

8. 179 頁下から 5 行目

(誤) 「この図では明示されませんが、道路整備の費用がこの面積よりも小さければ、社会にとって望ましい投資といえます。」

(正) 「この図では明示されませんが、消費者余剰と外部費用の変化分と道路整備の費用を考慮すれば、社会にとって望ましい投資になる可能性があります。」

9. 184 頁下から 8 行目

(誤) 「4 章 2 節で学んだように、通常、波及先の市場の余剰変化は考慮しませんが余剰の損失の変化は考慮します。この場合、余剰の損失は ABC から DEF に減少します。すなわち、 $ABC - DEF > GHI$ の場合、この政策は行う意味があるといえます。」

(正) 「この結果、交通量は q_1 から q_0 に減少し、自動車に起因する外部費用も減少することが分かります。自動車交通における余剰の増加がバス市場における余剰の減少より大きい場合、この政策は行う意味があるといえます。」